

「新たな選挙啓発の方向性について」論点整理

【現状・課題】

- ・従来の選挙時の啓発は、ポスターやチラシの掲出、街頭啓発でのティッシュ配り、集客イベントなど有権者への対面啓発を実施してきたが、今年1月の市議選でのコロナ禍の中、オンラインイベントやSNSでの情報発信など新たな試みを実施。
- ・デジタル化の進展や生活スタイルの変化にあわせた効果・効率的な方法が求められている。
- ・有権者に対し、単に選挙があるという広報ではなく、実際に、選挙行動を促す啓発手法を実践することが肝要である。
- ・政治的無関心層への選挙啓発を通じて全体的底上げが必要である。特に、今後を担う若者の低投票率の状況を克服する新たな取組みが重要である。

【論点】

1 選挙広報（情報の提供の方法）について

（1）発信する情報

（2）広報媒体と手法

2 投票行動（投票へ向かわせる手法）について

3 若者への働きかけ（きっかけづくり）について

4 その他